

段階確認実施要領 (林務関係)

平成28年5月

福岡県農林水産部

段階確認実施要領（林務関係）

1. 段階確認の趣旨

段階確認は、福岡県農林水産部の実施する県営工事において工事完了後に不可視となる部分等の手戻り防止のため、施工段階の確認事項（工種・細別・確認時期・確認項目）について、監督員等が立会により確認し、請負工事の適正な履行を確保するものである。

2. 段階確認の対象工種

段階確認は、段階確認一覧表の工種を標準とするが、監督員と請負者との協議により決定し実施することとする。

ただし、段階確認一覧表の工種であっても、中間検査で実施する場合があるため、監督員は事前に請負者に周知するものとする。

3. 段階確認の実施及び注意事項について

- ① 請負者は、工事着手にあたって「段階確認願」（別紙）を作成し、施工計画書に添付し、監督員に提出しなければならない。
- ② 請負者は、「段階確認願」に提出日、工事名、請負者名、工種、細別、確認予定場所及び確認予定日を記入する。
- ③ 請負者は、確認予定日に変更を生じた場合は、速やかに監督員へ連絡するものとする。
- ④ 変更により工種等に追加・削除を生じた場合は、その都度、「段階確認願」を提出する。
- ⑤ 請負者は、関係書類（出来形管理表、工事写真、品質管理表、試験成績表等を必要に応じて）を整備し、段階確認を受けるものとする。
- ⑥ 段階確認の写真管理は、監督員の確認状況並びに、該当項目の完了が判断できる写真とする。
また、写真には黒板を入れるものとし、工種、細別、確認日、確認項目、確認者を記入するものとする。
- ⑦ 監督員は、段階確認後、「段階確認書」に確認場所及び確認日を記入し、確認結果を「段階確認書」により復命するものとする。
- ⑧ 段階確認は、「土木工事施工管理基準*1」に基づき実施するものとする。
なお、規格値を満たさない場合は、請負者は監督員等からの指示がでるまで、次工程に着手することができない。
- ⑨ 段階確認において工場立会での確認を実施する場合は、別表「工場立会の確認基準」によるものとする。

*1 農業農村整備事業土木工事施工管理基準（農業農村整備）
農林水産部（水産林務関係）工事施工管理基準（水産林務）

段階確認願

段階確認書

<p>共通仕様書第1-1-20に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>起工番号 事業名 工事名</p> <p style="text-align: right;">請負者 現場代理人の氏名 印</p>	<p>請負者 現場代理人の氏名 殿</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <table border="1" style="width: 100%;"><tr><td style="width: 25%;">担当者</td><td style="width: 25%;">係員</td><td style="width: 25%;">係長</td><td style="width: 25%;">課長</td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>	担当者	係員	係長	課長				
担当者	係員	係長	課長						

工種	細別	確認予定場所	確認予定日	確認場所	確認日	確認者の氏名	特記事項等
		現場 工場		現場・工場 机上			
		現場 工場		現場・工場 机上			
		現場 工場		現場・工場 机上			
		現場 工場		現場・工場 机上			
		現場 工場		現場・工場 机上			
		現場 工場		現場・工場 机上			
		現場 工場		現場・工場 机上			

※1 段階確認書は、段階確認毎に作成するものであり、請負者から提出された段階確認願をコピーし使用する。

※2 段階確認後は、当該項目に実施内容を記載し、その都度回覧する。

段階確認一覧表（林務関係）

※「必須」は現場又は机上のいずれかにより必ず確認するもの(◎は係長以上の確認を原則とする)、「任意」は確認しない場合を可とするもの。

工種	細別	確認時期	確認項目	必須	任意
準備工	丁張（土工、構造物等）	設置完了時	位置、方向、BM高さ	○	
	伐採工	伐採完了時	本数、範囲	○	
	根株破碎工	完了時	数量、状況		△
指定仮設工		施工完了時	使用材料の規格、延長、高さ、幅、長さ、深さ、間隔	◎	
道路土工	掘削工	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△
	路床盛土工	盛土工完了時	ブルドーザ	○	
改良工（路床等）	路床安定処理工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザ	○	
	路床置換工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザ	○	
舗装工	下層路盤工	施工完了時	施工幅、施工厚、ブルドーザ		△
	上層路盤工	施工完了時	基準高、施工幅、施工厚		△
法面工	ネット張り	ネット張り完了時	使用材料の規格、数量		△
	客土吹付工	ラス張り完了時	使用材料の規格、数量		△
	厚層基材吹付工	材料配合時			
	モルタル吹付工	ラス張り完了時	使用材料の規格、数量、設計図書との対比	○	
法枠工	鉄筋組立完了時				
地盤改良工（構造物の基礎）		施工完了時	使用材料の規格、幅、延長、置換厚さ、支持地盤	◎	
矢板工（任意仮設を除く）	鋼矢板、鋼管矢板	打ち込み時	使用材料の規格、寸法等、溶接部の適否	○	
		打ち込み完了時	基準高、変位量	◎	
打ち込み杭工	既製コンクリート杭 鋼管杭 H鋼杭	打ち込み時	長さ、使用材料の規格 溶接部の適否	○	
		打ち込み完了時	基準高、偏心量	◎	
		掘削完了時（中掘工法）	掘削長さ	○	
		施工完了時（中掘工法）	基準高、偏心量	◎	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	○	
埋込み杭工	リバース杭 アースドリル杭 深礎工（深礎杭） オールケーシング杭 大口径杭	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置	○	
		掘削完了時	偏心量、杭径、長さ、支持地盤	○	
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比	○	
		施工完了時	基準高、偏心量、杭径	◎	
		グラウト注入時（深礎杭工）	使用材料の規格、使用量配合、注入完了	○	
		杭頭処理完了時	杭頭処理状況	○	
オープンケーソン工		全構造物製作後	厚さ、幅、高さ、長さ	○	
		全構造物設置後	基準高、偏位	◎	
擁壁工	擁壁工（無筋コンクリート）	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤		△
	擁壁工（鉄筋コンクリート） 橋台 橋脚	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤	○	
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、数量、間隔	○	
	補強土壁工	施工完了時	設計図書との対比	◎	
		土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△
		床掘完了時	基準高、幅、延長、支持地盤		△
	L型プレキャスト	転圧完了時	ブルドーザ		△
		土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△
床掘完了時		基準高、幅、延長、支持地盤		△	
		基礎コンクリート完了時	幅、厚、延長		△
床版工		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	◎	
橋梁工 PC橋	製品（JIS以外）	製品出荷前	規格、寸法、配筋、品質、緊張	○	
	横締 縦締 配筋	圧縮強度試験後	緊張	○	
		圧縮強度試験後	緊張	○	
		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	○	
躯体工		沓座の位置決定時	使用材料の規格、寸法、沓座の位置	○	
鋼橋		仮組立完了時（仮組立の省略となる場合を除く）	キャンパー、寸法等	◎	
地下水排除工	集排水ボーリング工 集水井工	削孔完了時	土（岩）質、基準高、寸法等	○	
		資材組立時	使用材料の規格、寸法等	○	
		施工完了時	基準高、寸法等	◎	
アンカー工 （ロックボルト含む）		削孔完了時	削孔長、削孔角	○	
		アンカー体挿入時	使用材料の規格、寸法等	○	
		緊張定着時	適正試験、確認試験	◎	
トンネル掘削工		土質の変化時	土（岩）質、変化位置、支保パターン	◎	
トンネル支保工		支保工完了時	吹付コンクリート厚	◎	
		（支保工変化毎）	ロックボルト打込本数及び長さ	◎	
			鋼製支保工の間隔	◎	
トンネル覆工	型枠（スライドセントル）	組立完了時	規格、寸法	◎	
	配筋	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、寸法設計図書との対比	◎	
	覆工厚	施工時（構造の変化毎）	設計図書との対比	◎	
トンネルインパート工		鉄筋組立完了時 又は掘削完了時	設計図書との対比	◎	
トンネル工 （NATM）	吹付コンクリート	施工初期・施工中期・施工完了時 （タイプ変更毎）	厚さ	◎	
	ロックボルト	施工初期・施工中期・施工完了時 （タイプ変更毎）	本数、径、長さ	◎	

共通（農・林）

段階確認一覧表（林務関係）

※「必須」は現場又は机上のいずれかにより必ず確認するもの(◎は係長以上の確認を原則とする)、「任意」は確認しない場合を可とするもの。

工種	細別	確認時期	確認項目	必須	任意	
農業農村整備事業関係（共通工以外）	ほ場整備	基盤造成	施工完了時	基準高（指定時）、均平度		
		表土整地	施工完了時	基準高（指定時）、均平度、表土厚		
	農用地造成	テラス(階段畑)道路工(耕作道)	側溝掘削時	側溝幅、側溝高さ		
		水路工	現場打開水路 現場打サイホン 現場打暗渠	床掘完了時	基準高、支持地盤	
	鉄筋コンクリート 大型フリューム 鉄筋コンクリートL形水路 ボックスカルバート水路		鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比		
			床掘完了時	基準高、支持地盤		
	河川および排水路	コンクリートブロック積み水路 鉄筋コンクリート柵渠	床掘完了時	基準高、支持地盤		
			基礎完了時	幅、高さ、中心線のズシ、施工延長		
	管水路	遠心力鉄筋コンクリート管 ダクタイル铸铁管 強化プラスチック複合管 硬質塩化ビニル管 鋼管	管布設時	基準高、管種、施工延長		
			推進工事	立抗完了時	地質、設計図書との対比	
	畑かん施設	スプリンクラー	床掘完了時	埋設深		
	暗渠排水	吸水渠	布設完了時	上下流の布設深、間隔、施工延長		
		集水渠(支線)	布設完了時	上下流の布設深、施工延長		
		導水渠(幹線)	布設完了時	上下流の布設深、施工延長		
	フィルダム	監査廊(暗渠タイプ)	施工完成時	基準高、幅、高さ、高さ、中心線のズシ、スパン長、施工延長		
		堤体盛土	施工初期	ゾーン幅		
			施工中			
			施工初期・施工完了時			
	洪水吐	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比			
	頭首工	本体	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比、不可視となる構造物の厚さ（エプロン等）		
ため池改修	堤体工	盛土高さ1/2完了時	堤幅			
	洪水吐工	鉄筋組立完了時	使用材料の規格、設計図書との対比			
	樋管工	施工完了時	基準高、厚さ、幅、高さ、中心線のズシ、施工延長			
	ボーリング工(グラウト)	ボーリング完了時	深度、偏心			
	張ブロック工 腰ブロック工	床掘完了時	基準高、支持地盤			
※施設機械については農林水産省の基準に準じる。						
林務事業関係（共通工以外）	管（函）渠工	ヒューム管	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△
		重圧管 ボックスカルバート	床掘完了時	地盤支持力、基準高、	○	
			布設完了時	使用材料の規格、基準高、延長	◎	
			鉄筋組立完了時（RCの場合）	使用材料の規格、数量、間隔	◎	
	コンクリートダム（副ダムを含む）	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△	
		床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○		
		型枠完了時（1段目）	幅、延長、法勾配		△	
		本堤完了時	天端高		△	
		上流の埋戻し完了後	埋戻し高さ		△	
		鋼製ダム（副ダムを含む） （鋼製自在枠） （スリットダム）	土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△
			床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○	
			中詰材施工初期段階	使用材料の規格、詰石状況	◎	
			スリット部材設置前	設置位置、使用材料の規格	○	
			本堤完了時	天端高		△
	護岸工	上流の埋戻し完了後	埋戻し高さ		△	
		土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△	
		床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○		
	土留工（コンクリート） （ブロック積） （鋼材・かご製品） （木製品）	中詰材施工初期段階（カゴ枠等の場合）	使用材料の規格、詰石状況		△	
		土（岩）質の変化時	土（岩）質、変化位置		△	
		床掘完了時	地盤支持力、基準高、幅、延長	○		
植栽工	中詰材施工初期段階	使用材料の規格、詰石状況		△		
	植栽工	地拵え完了時	地拵え状況			
	苗木搬入時（苗木搬入が2回以上に亘る場合は、受種別に1回は立会する） 仮植時	樹種、規格、本数				
仮植状況						